※令和４年度以降入学生用

学校番号	１０１３

令和８年度　数学科

教科	数学科	科目	数学Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年前期
使用教科書	高等学校　数学Ⅰ　（数研出版）						
副教材等	４プロセス　数学Ⅰ＋A（数研出版）　　チャート式　数学ⅠA（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では、課題に対して、自ら考え、周りの人と協働で考える活動を行います。
・「課題を理解する→結果を予想する→解決の方向を構想する→解決する→過程を振り返ってよりよい解決法を考える」といった一連の過程を重要視しています。
・問題集用のノートを用意してください。
問題集の問題をまず自分で解いてみましょう。ただ答えを求めるだけでなく、途中式や考え方も書くようにしましょう。また、各自答え合わせをしてください。答え合わせは、自分がどこでつまずいたかを知るための大切なものです。
・家庭学習で各自問題を解き進め、それらを課題として提出してもらいます。日々努力を積み重ねて、あきらめずに取り組みましょう。

2　学習の到達目標

・数と式、2 次関数、図形と計量及びデータの分析についての基礎的な知識や技能を習得する。
・事象を数学的に考察する能力を培う。
・数学のよさを認識し、数学を活用する態度を身に付ける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・「数と式」「図形と計量」「二次関数」についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 ・事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。	命題の条件や結論に着目し，数や式を多面的にみることや、目的に応じて適切に変形する力，図形の構成要素間の関係に着目し，図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力，関数の関係に着目し，事象を的確に表現してその特徴を表や式，グラフに関連付けて考察する力を身に付けている。	・数学のよさを認識し数学を活 用しようとしている。 ・粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしている。 ・問題解決の過程を振り返って 考察を深め，評価・改善しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	数と式　式の計算	多項式の加法と減法	a: 1 つの文字に着目して整理することができ，多項式の加法，減法，指数法則の計算，展開や因数分解の公式を適切に用いて計算をすることができる。 b:例えば「式を１つの文字におき換える」「積の組み合わせを工夫する」など，式の展開を簡略化することができる。 複雑な式についても，式を 1 つのまとまりとみる，1 つの文字について整理するなどして見通しをよくすることで，因数分解をすることができる。 c:事象を数と式の考えを用いて考察するよさを認識し，問題解決にそれらを活用し，粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしている。また，問題解決の過程を振り返って考察を深め，評価・改善しようとしている。	ノート ワークシート 考査	ノート ワークシート 考査	ノート ワークシート
		多項式の乗法		ノート ワークシート 考査	ノート ワークシート 考査	ノート ワークシート
		因数分解		ノート ワークシート 考査	ノート ワークシート 考査	ノート ワークシート
	数と式　実数	実数	a:数を実数まで拡張する意義を理解するとともに，簡単な無理数の計算をすることができる。 絶対値の意味を理解し，実数の絶対値を求めることができる。 b:式の特徴に注目して対称式の値を求めることができる。また，それに分母の有理化などを利用することができる。 c:事象を数と式の考えを用いて考察するよさを認識　し，問題解決にそれらを活用し，粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしている。また，問題解決の過程を振り返って考察を深め，評価・改善しようとしている。	ノート ワークシート 考査	ノート ワークシート 考査	ノート ワークシート
		根号を含む式の計算		ノート ワークシート 考査	ノート ワークシート 考査	ノート ワークシート
	数と式　1	不等式の性質	a:不等式の解の意味や不等式の性質について理解するとともに，１次不等式の解を求めることができる。絶対値を含む方程式や不等式を解くことができる。	ノート ワークシート 考査	ノート ワークシート 考査	ノート ワークシート

※令和４年度以降入学生用

		1次不等式	b:身近な問題を，1 次不等式を活用して解決することができる。 場合分けをして絶対値記号を外す方法について理解し，絶対値を含む方程式や不等式を場合分けして解くことができる。 c:事象を数と式の考えを用いて考察するよさを認識し，問題解決にそれらを活用し，粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしている。また，問題解決の過程を振り返って考察を深め，評価・改善しようとしている。	ノート ワークシート 考査	ノート ワークシート 考査	ノート ワークシート
		絶対値を含む方程式・不等式		ノート ワークシート 考査	ノート ワークシート 考査	ノート ワークシート
前期	集合と命題	集合	a:集合と命題に関する基本的な概念を理解している。 b:真の命題や偽の命題，命題ではない文の例や，与えられた条件の十分条件や必要条件を考え，他人が考えた命題や条件が妥当か判断できる。 直接証明することが難しい命題を，対偶や背理法などを用いて証明できないか考えようとしている。 c:事象を集合の考えを用いて考察するよさを認識し，問題解決にそれらを活用し，粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしている。また，問題解決の過程を振り返って考察を深め，評価・改善しようとしている。	ノート ワークシート 考査	ノート ワークシート 考査	ノート ワークシート
		命題と条件		ノート ワークシート 考査	ノート ワークシート 考査	ノート ワークシート
		命題と証明		ノート ワークシート 考査	ノート ワークシート 考査	ノート ワークシート
	2次関数 2次関数とグラフ	関数とグラフ	a: 2 次関数の値の変化やグラフの特徴について理解している。 b: 2 次関数 $y=a(x-p)^2+q$ のグラフを，p，q が何を意味するかに着目して考察できる。 放物線の平行移動について，x 軸方向，y 軸方向などの用語を用いて表現できる。 c:事象を 2 次関数の考えを用いて考察するよさを認識し，問題解決にそれらを活用し，粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしている。また，問題解決の過程を振り返って考察を深め，評価・改善しようとしている。	ノート ワークシート 考査	ノート ワークシート 考査	ノート ワークシート
		2次関数のグラフ		ノート ワークシート 考査	ノート ワークシート 考査	ノート ワークシート

※令和４年度以降入学生用

前期	2次関数　2次関数の値の変化	2次関数の最大･最小	a: 2 次関数の最大値，最小値はグラフを用いて考察できることを理解している。 グラフの軸や頂点，グラフが通る 3 点がわかっている 2 次関数を求めることができる。 b: 2 次関数の軸，定義域と最大値，最小値の関係を正確に理解し，定義域や係数に文字を含む 2 次関数について，適切に場合分けして最大値，最小値を求めることができる。 2 次関数を決定する際，問題に応じて適切な式の形を判断して使うことができる。 c:事象を 2 次関数の考えを用いて考察するよさを認識し，問題解決にそれらを活用し，粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしている。また，問題解決の過程を振り返って考察を深め，評価･改善しようとしている。	ノート ワークシート 考査	ノート ワークシート 考査	ノート ワークシート
		2次関数の決定		ノート ワークシート 考査	ノート ワークシート 考査	ノート ワークシート
	2次関数　2次方程式と2次不等式	2次方程式	a: 2 次方程式の解の種類について理解し，判別式を用いてその判別ができる。 2 次方程式の解と 2 次関数のグラフとの関係について理解している。また，2 次不等式の解と 2 次関数のグラフとの関係について理解し，2 次関数のグラフを用いて 2 次不等式の解を求めることができる。 b: 2 次関数のグラフと x 軸の共有点の位置を考える際のグラフの条件について，それぞれがどのような意味をもつのか，様々な 2 次関数やそのグラフを積極的に用いて考察しようとする。 c:事象を 2 次関数の考えを用いて考察するよさを認識し，問題解決にそれらを活用し，粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしている。また，問題解決の過程を振り返って考察を深め，評価･改善しようとしている。	ノート ワークシート 考査	ノート ワークシート 考査	ノート ワークシート
		2次関数のグラフとx軸の位置関係		ノート ワークシート 考査	ノート ワークシート 考査	ノート ワークシート
		2次不等式		ノート ワークシート 考査	ノート ワークシート 考査	ノート ワークシート

※令和４年度以降入学生用

	図形と計量　三角比	三角比	a:三角比の定義を理解し，直角三角形において正弦・余弦・正接を求めることができる。 三角比を鈍角まで拡張する意義を理解し，相互関係について理解している。 b: 3 つある三角比の相互関係のそれぞれをどのような場面で用いるか判断することができる。 三角比の値から角 θ を求めるときや，三角比の 1 つの値から残りの 2 つの値を求めるときなど，解が 1 通りの場合と 2 通りの場合がある理由を理解し，適切に求めることができる。 c:事象を図形と計量の考えを用いて考察するよさを認識し，問題解決にそれらを活用し，粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしている。また，問題解決の過程を振り返って考察を深め，評価・改善しようとしている。	ノート ワークシート 考査	ノート ワークシート 考査	ノート ワークシート
		三角比の相互関係		ノート ワークシート 考査	ノート ワークシート 考査	ノート ワークシート
		三角比の拡張		ノート ワークシート 考査	ノート ワークシート 考査	ノート ワークシート
	図形と計量　三角比への応用	正弦定理	a:正弦定理や余弦定理などを用いて三角形の辺の長さや角の大きさなどを求めることができる。 2辺とその間の角が与えられた三角形や3辺が与えられた三角形の面積を求めることができる。 b:正弦定理，余弦定理のうち適切なものを判断し，種々の量を求めることができる。 円に内接する四角形の面積を，2 つの三角形に分けて求めることができる。 空間図形から平面図形を取り出し，辺の長さや面積などを求めることができる。 c:事象を図形と計量の考えを用いて考察するよさを認識し，問題解決にそれらを活用し，粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしている。また，問題解決の過程を振り返って考察を深め，評価・改善しようとしている。	ノート ワークシート 考査	ノート ワークシート 考査	ノート ワークシート
		余弦定理		ノート ワークシート 考査	ノート ワークシート 考査	ノート ワークシート
		正弦定理 と 余弦定理 の活用		ノート ワークシート 考査	ノート ワークシート 考査	ノート ワークシート
		三角形の面積		ノート ワークシート 考査	ノート ワークシート 考査	ノート ワークシート
		空間図形 への 活用		ノート ワークシート 考査	ノート ワークシート 考査	ノート ワークシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※令和４年度以降入学生用